

平成 27 年度

行政政策学類

私費外国人留学生入学試験

小 論 文

時 間 120 分

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子はこの表紙を除いて 3 枚、解答用紙は / 枚です。
印刷不鮮明の箇所などがあれば、監督者に申し出て下さい。
3. 解答用紙の指定欄には、必ず、受験番号を記入して下さい。
4. 解答は、別紙の解答用紙の解答欄に横書きで記入して下さい。
5. 解答用紙は持ち帰らないで下さい。

問 題

問Ⅰ 資料Aは2014年6月20日・24日付『朝日新聞』の記事である。資料Aで取り上げられている東京都議会でのヤジ問題について、事件の概要をまとめなさい。(200字以内)

問Ⅱ 資料Aの*部分にあるように、倉田真由美氏は「鈴木都議は『早く結婚していただきたいとの思いで発言した』と説明したが、根本的な問題を全くわかっていないな、と思った」と述べている。倉田氏は、鈴木都議のどのような発言に対して、「根本的な問題」がわかっていないと批判しているのか。また、倉田氏がいう「根本的な問題」とは何か、説明しなさい(200字以内)

問Ⅲ 資料Bは2014年9月8日付『朝日新聞』の記事である。資料Bにあるように、世界各国でも、女性の社会進出について様々な取り組みがなされている。資料Aや資料Bを参考にしながら、あなたが理想と考える「社会と性別の関係」について述べなさい。また、その理想に近づけるための具体的な方法を提案しなさい。(800字以内)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から公表することができませんので
ご了承願います

平成27年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

行政政策学類 私費外国人留学生入試

問題の素材として用いたのは、2014年6月20日・24日付『朝日新聞』の東京都議会セクハラヤジ問題に関する記事(資料A)と、2014年9月8日付『朝日新聞』の「男女が生きる 欧米の模索 下」という特集記事(資料B)である。平易な日本語で書かれているため、日本の大学で学ぶにあたって必要となる日本語の読解能力を問うには適切な素材であると考えた。出題にあたっては、記事の内容が理解できているか、理解したことを適切に整理して日本語で表現できるか、論理的に説明できるか、といった能力を測ることを意図して以下のように設問した。

問Ⅰでは、資料Aで報じられている東京都議会セクハラヤジ問題について、新聞記事から事件の概要を読み取り、整理させることとした。このことを通じて、受験者の日本語読解・論述能力と情報整理能力を問うこととした。

問Ⅱでは、新聞紙面中における識者による批評コメントについて、その意味するところを説明させた。このことを通じて、受験者の日本語読解能力・文章理解力を問うこととした。

問Ⅲでは、資料Bとして、各国の取り組みについても情報を提供した上で、自分の考えを述べさせることとした。このことを通じて、日本語論述能力・論理的思考能力を問うこととした。